

オンライン座談会

ともにつくる、地域の未来

～地方時代における産官金連携の姿とは～

地域課題解決に取り組む
自治体・金融機関・
事業者の参加募集！

コロナ後の地方活性化のポイントは何か？地方をプロデュースするため必要な事は？

地方固有の特色を活かした「地域価値」を創り上げていくために、いま、自治体・金融機関に求められることは？そのために必要なことを、NIPPONIA古民家の事例を筆頭に、先進的な自治体・金融機関の事例も踏まえて、皆で考えます。（全4回。スポット参加可。）



<毎月第3金曜日に開催>

第1回：令和3年1月15日（金）18：30～20：00
（活動事例紹介：一般社団法人ノオト）

第2回：令和3年2月19日（金）18：30～20：00（活動事例紹介：但馬信用金庫）

第3回：令和3年3月19日（金）18：30～20：00（活動事例紹介：愛媛県大洲市）

第4回：令和3年4月16日（金）18：30～20：00（第1回～第3回の総括）

“Cisco Webex Meetings”による完全オンライン形式（事前申込制／定員50名程度）
詳細な内容、参加方法等は裏面をご覧ください

共催：財務省 近畿財務局、一般社団法人ノオト

私たちは「なつかしくて、あたらしい、日本の暮らしをつくる」という理念のもと、その地域の歴史や文化、暮らしの継承を目的として歴史的建築物の活用を起点に、その土地の歴史文化資産を尊重したエリアマネジメントと持続可能なビジネスを実践します。この取組みを「NIPPONIA」と名付け、全国で事業を展開しています。



本事業は、行政、地元企業などと連携して地域毎に事業主体を構築し、地域と共に事業に取り組むことを特徴としています。こうすることで地域に根差した持続的なまちづくり事業を行うことが可能となります。2020年11月現在、「NIPPONIA」の理念に共感した仲間たちと築いた協働ネットワークの下、地方創生の新しい運動のかたちとして再生した滞在施設が全国で23地域まで拡大しています。

メインスピーカー紹介 (敬称略)

第1回 伊藤 清花 (Sayaka Ito) 一般社団法人ノオト 代表理事



大阪府豊中市生まれ。2008年からシナジーマーケティング株式会社に勤務後、2013年に一般社団法人ノオトに参画。創造都市ネットワーク日本（文化庁事業）の事務局を務めながら、NIPPONIA事業の立ち上げ、推進に従事。集落丸山（丹波篠山市）、篠山城下町ホテルNIPPONIA（兵庫県丹波篠山市）等のプロジェクト企画支援・開発に携わる。2019年10月より現職。現在は、NIPPONIAのさらなる充実に向けたネットワーク構築と人材発掘・育成に注力している。

第2回 宮垣 健生 (Takeo Miyagaki) 但馬信用金庫 常勤理事 兼 事業支援部長



兵庫県豊岡市生まれ。大学卒業後、東京でコンサルティング経験を積み、但馬信用金庫へ。地域ビジネス創出支援等様々な業務を経て現職へ。業界紙への執筆や日本銀行本店が主催するセミナーの講師も務める。

第3回 村中 元 (Hajime Muranaka) 一般社団法人キタ・マネジメント 事務局次長



愛媛県大洲市生まれ。1997年大洲市役所入庁。文化財保全、大洲城復元などの業務を経て2015年から観光まちづくりに携わる。2020年4月から現職。官と民の中間組織としての地域DMOを運営しながら、地域の持続的な発展のためのまちづくりシステムを構想中。

プログラム

第1回：令和3年1月15日（金）

18：30 開場 開会挨拶（近畿財務局 総務部長 児玉 光載）

18：40 活動事例紹介（スピーカー：一般社団法人ノオト 代表理事 伊藤 清花）

19：10 スピーカーと参加者を交えた座談会

参加者からいただいた質問への回答はもちろん、参加者同士も意見交換できる場とします。まちづくりや産官金連携について日ごろ感じていることや、本座談会に参加して感じたことなど、お気軽にお話しください。

20：00 閉場

参加申し込み – 耳だけ参加OK！

参加希望の方は、①氏名、②所属（企業名）、③役職、④当日連絡可能な電話番号、⑤事前質問事項を以下のアドレスまでメールで送信してください。締め切り後、順次会場URLを返信いたします。（第2回（2/19）以降の参加希望は、別途ご案内しますので、ご参加の回ごとにお申し込みをお願いいたします。）

なお、お預かりした個人情報は本シンポジウムのご案内に使用するほか、共催事業者（一般社団法人ノオト）と共有し、本シンポジウムの趣旨に則った今後の取り組みについての連絡を差し上げる場合がございます。当局および共催事業者のいずれにおいても、個人情報は厳正に管理いたします。氏名・所属については、参加者同士で共有させていただきますのであらかじめお含みおきください。

kinzaikikaku@kk.lfb-mof.go.jp

令和3年1月12日（火）